

岐阜県の プラスチック

岐阜県プラスチック工業組合会報

第77号

プラスチック業界のマーケティング活動
技術センターで技能検定を行う
低コストの積層金型を開発研究中
未来博開催へあと一年

デザインのすすめ
組合員の工場訪問
事務局だより



プラスチック産業技術センターで技能検定

親企業任せと生業的企業

プラスチック業界のマーケティング活動

県シンクタンク調査 二極化傾向はつきり出る

円高影響や国際化の進展によって経営の多角化、新事業への転換が進み、新製品の開発や販路開拓などと、企業に新たな対応が迫られている。とくに岐阜県は産業構造上、地場産業を中心とする軽工業が主力を占めているだけに、技術革新を取り込み、産業構造の高度化をすすめ、さらには販売戦略を展開することが緊急の課題である。

こうした観点から、岐阜県シンクタンクは『県内地場産業における企業のマーケティング活動』をテーマに調査研究を行い、結果をまとめた。調査は七大産業を対象に900企業へ調査票を配布し、332企業から回答をえてまとめたもの。このうちプラスチック成形業界は89企業へ配布、29企業の回答をえて、マーケティング活動の実態をまとめている。次は調査結果の中からプラスチック製品製造業に焦点を当ててみた。

経営困難の一位は製品需要停滞

プラスチック製品製造業の経営上の問題点は第一位に「製品需要の停滞」36.8%、第二位

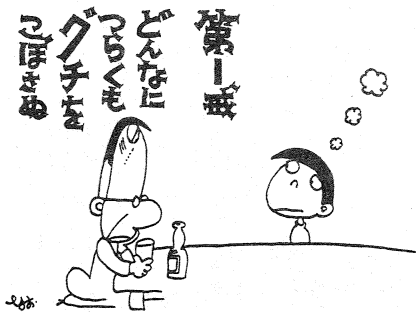
に「製品価格の低下」24.1%があげられる。他の県内地場産業と同様に、需要減少とそれに追い打ちをかける価格低下の二重苦を背負っている業種といえよう。

そうした状況に対応するためのマーケット活動への取り組みはどうか。取り組んできたのは44.8%の企業であり、取り組んでいない企業は四割弱と家具業界について多い。しかし、取り組んでいない企業の過半数は「ノウハウがない」「人材がない」の理由をあげており、必ずしも意欲がないわけではない。

市場調査を実施する企業は六割

プラスチック業界で市場調査を実施している企業は六割弱で、やはり家具業界について低い。その目的は「新製品開発」55.6%「業界動向の把握」27.8%のためであり、双方を合わせると八割強になり、これらにつきるといってよい。しかし、市場調査を行っていない三割強の企業

後継者養成
①



《息子の前では、どんなにつらくもグチをこぼさぬこと》経営環境の厳しい時代だけに、経営者が受けるストレスは数多い。しかし、ストレスに負けて弱気になっては親の尊厳がなくなってしまう。

のうちの60%では「必要がない」ということである。調査部門の有無では、およそ九割の企業が「経営者・役員」や「営業・販売部門(担当者)」で行っていることになる。

開発は親企業、取引先に任せる

新製品開発・デザイン開発と取り組んでいる企業は、41.4%と地場産業中で最も低い。その部門の有無についてみると、六割強の企業で専任の担当者を置いている。開発に取り組んでいない理由としては「親企業」44.4%や「取引引き先」22.2%にまかせていたり「必要性が全く無い」22.2%などがあげられる。

さらに標的とする市場や消費者層・ユーザー層を区分していない企業は、62.1%とこれも調査した産業の中で最も高い。

また、販売ルートを見ると「親企業」とするのが51.7%を占め、次いで「商社」44.8%「問屋」27.6%の順になっている。

望まれる“意欲”に富む経営姿勢

このようにプラスチック業界のマーケティング活動みえてくると、積極的、意欲的企業と親企業まかせの生業的域を出ない企業との二極化があるように思われる。プラスチックは今日、日常生活のみならず企業の生産活動に不可欠の製品・素材であり、それだけに用途も広く、工夫・改善の余地も大きいといえ、この業界が全体として意欲に富む経営姿勢が望まれる。

販売の促進策としては「見本の配布」34.5%「割引」27.6%「見本市・展示会等への参加」17.2%である。(次頁へつづく)

販売促進策

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------|
| 1. リベート | 2. 種々の割引 | 3. プレミアムの提供 |
| 4. 見本の配布 | 5. 見本市・展示会の主催 | |
| 6. 見本市・展示会への参加 | 7. ダイレクトメールの送付 | |
| 8. 販売店への店頭販促物の配布 | 9. 販売店の売上コンテスト | |
| 10. 販売店への経営相談 | 11. 販売店の従業員への教育訓練 | |

		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	無回答	
業種	全 体	3.4	6.5	2.2	14.4	8.4	13.4	2.1	0.9 3.2 1.8	0.4 0.5		43.1			
	食 料 品		20.0		8.9		2.2	24.4		6.7		17.8	4.4	15.6	
	衣服・その他の繊維製品	1.8 4.4	1.8 10.0		13.6		11.0	3.3 4.1	0.3 0.3	0.5 2.6 0.3				46.4	
	家具・装備品	8.7	14.5	2.9		7.2	4.3	15.9		1.4 4.3		2.9 1.4		34.8	
	紙・紙加工品	3.3	5.6	2.2	16.7	3.3	12.2	2.2		2.2 1.1				45.6	
	プラスチック製品	4.6	9.2	4.6	11.5	11		5.7	1.1					59.8	
	窯業・土石製品	0.4 7.0		2.6	21.5		7.5	18.4	0.4	0.4 3.5		1.3 0.9		36.0	
	金 属 製 品	5.3	5.3		17.5		1.8	15.8	3.5					50.9	

今後の重点としては「訪問回数」をあげる企業が34.5%と最も多く、次いで「新規顧客の開拓」を重点課題に設定する積極的企業が二割強もいることは心強い。その自己評価では「販売員の能力向上」41.4%「販売員活動を充実したい」37.9%が多いのは他の業種と同様である。さらに「販売員の数を増やしたい」とする企業は少ないが一割弱、県内業種の中で一番高い。

積極的企業に人材不足がめだつ

新製品の販路開拓では「従来からの取り引き業者」58.6%「同業種の製品を扱っている新しい業者」41.1%の上位二項目であり、他業種と変わらない。その困難性をみると「新規参入できない」24.1%がトップで、次いで「販路開拓にあたる人材がいらない」が20.7%となっているのが注目される。

販路開拓に関する設問では、各産業中で最も無回答の割合の高かった業種であるが、それは現状肯定の企業の多いことの一つ証左ともなるうか。積極的に経営を展開しようとする企業にとっては、人材の壁が厚いということが、この業種における特徴といえよう。

下請テクノフェアの出展募集中

『下請け中小企業テクノフェア』が12月16日から3日間、愛知県産業貿易館で開かれる。全国下請企業振興協会と各県下請振興公社が主催東海北陸五県下に活躍する下請け中小企業の製品や技術力を展示し、広く受注機会の増大、新規取り引き先の開拓を促進するのがねらい。

岐阜県中小企業下請振興公社では、機械、金属、工業用プラスチック製品の出展参加を呼びかけている。

販売促進活動の自己評価

1. 広告・宣伝活動を強化したい
2. 流通業者・取引先にたいする販売員活動をもっと充実したい
3. 販売員の能力を向上させたい
4. 販売員の数を増やしたい
5. 現状のままでよい
6. その他

		1	2	3	4	5	6	無回答	
全	体	6.5	26.1	22.8	5.1	4.3	0.8	34.3	
業 種	食 料 品	10.0	36.7			36.7		16.7	
	衣服・その他の繊維製品	4.6	25.4	25.4	5.8	3.5	0.4	35.0	
	家具・装備品	6.5	28.3	15.2	4.3	8.7		40.0	
	紙・紙加工品	6.7	31.7		31.7		8.3	5.0	16.7
	プラスチック製品	3.4	19.0	20.7	8.6	6.9	3.4		37.9
	窯業・土石製品	10.5	25.0	16.4	3.9	3.3	2.7		40.1
	金 属 製 品	5.3	26.3	18.4	7.9		2.6		39.5

技術センターで技能検定を行う

実技は一級8人、二級36人が参加

工業組合が毎年、県職業能力開発協会から委託を受けて実施する「技能検定」は、7月13日から28日までの11日間、県工業技術センターで開かれた。これに先だち「技能検定講習会」も開かれ、基本をみっちり勉強した。

課題は2種類のケースを成形

今年のプラスチック射出成形の実技試験受験者は一級8人、二級36人と多く、ハイテク時代にふさわしい高水準の技能検定となった。実技検定は、例年と同じ工業技術センターの高分子実験場で、日置正首席検定委員ら各委員が見守る中で行われた。

受験者は公開抽選で決まった日精、住友の各インジェクションの前に立ち、一級は4時間30分、二級は3時間30分の検定時間をフルに活用し、検定課題のプラスチックケース2種類（一級100個、二級40個）を成形加工した。

学科は8月30日に

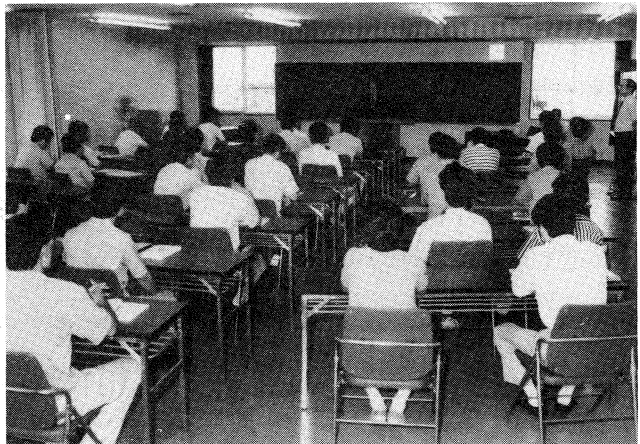
実技試験はたんなる成形作業だけではなく、運転前の点検、金型の取り付け、型締力の調整リミットスイッチの調整などと成形作業の事前事後までも採点の対象になるとあって、受験者は緊張の連続であった。

なお、学科検定は8月30日、県人材開発センターで行われ、検定合格者発表は10月6日に予定される。

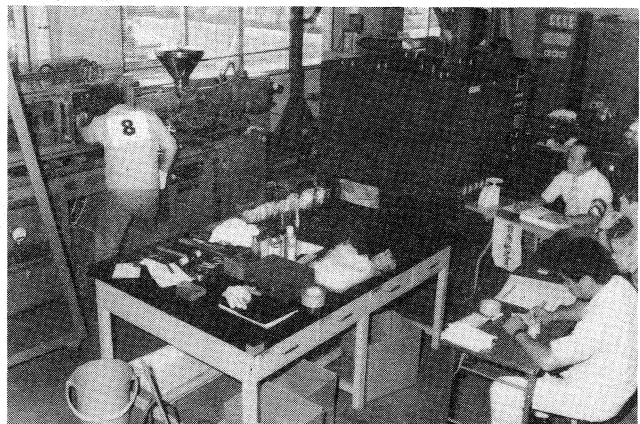
検定に先だち技術講習会開く

技能検定講習会は、実技検定に先だち7月7、8の2日間、工業技術センターで開かれた。内容は①実技試験の解説と受験対策②学科試験の解説と受験対策③機械（日精、住友）の取り扱い説明と加工技術—など、連日講義を受けた。

なお、初日の開講式で大松理事長は『技術なくして業界の発展はない』と激励した。



ハイテク時代を反映し参加者が多かった講習会



検定委員の見守る中で行われた技能検定の実技

低コストの積層金型を開発研究中 県の工業技術センターと金属試験場

岐阜県の工業技術センターと金属試験場は、プラスチック成形加工や刃物製品用に応用できる「積層金型」の実用化へこぎつけた。この新しい積層金型はコンピュータによる自動設計とレーザー加工技術を応用し、開発研究を進めてきた。

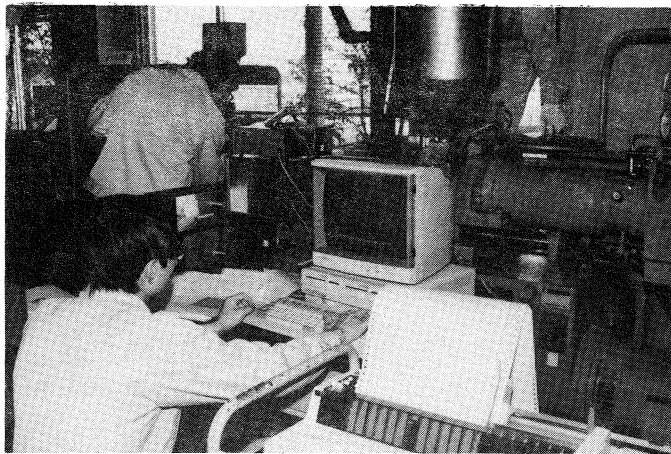
他品種少量、短納期、低コスト

積層金型実用化の開発研究は、61年度から3カ年の国庫補助事業として取り組んできた。

事業の目的は、多品種少量生産、短納期に対応できる低コストな金型製造技術の開発のため①低コスト化②金型設計の迅速化③加工時間の短縮化などが実現できる積層金型とした。この積層金型はまだ実用化されておらず、とくに地場産業の刃物製造やプラスチック射出成形加工用の金型にねらいをおいた。

これまでの実験では①積層板を切断する最適なレーザー加工実験②試作金型を用いた射出成形加工実験と刃物打ち抜き加工実験による金型設計データ収集と加工条件の検討③CAD/CAM技術を用いた自動設計システムの開発一などを行った。

具体的には、全体を一つの鋼材で型を作るのではなく、厚さ1～1.5ミリの鋼板を数枚重ね合わせ、型の部分だけを積層にした金型を作るもの。



積層金型使って成形実験する



東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341



新製品を追う③

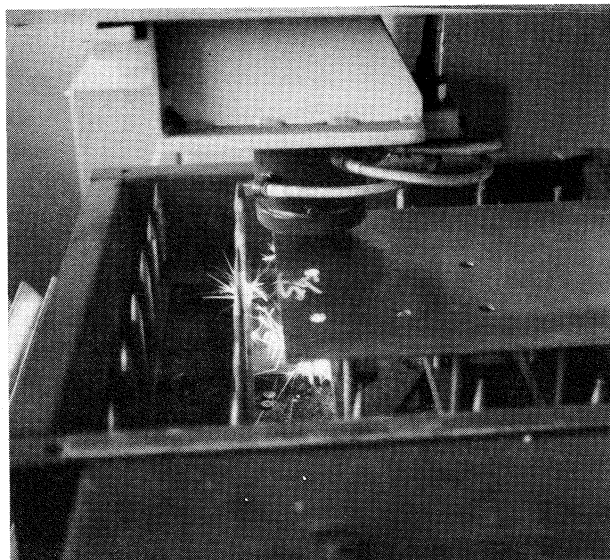


その結果①設計からNCテープ出力の時間が従来の五分の一に②金型製作時間は約三分の一に③コストは従来の二分の一から四分の一になる一などの成果をえた。

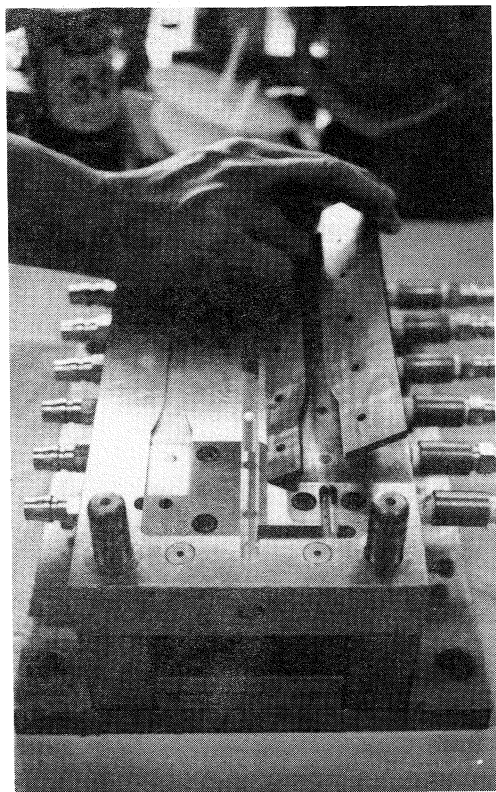
プラスチック金型に期待

こうした実験結果により、プラスチック業界やプレス業界は納期の短縮、低コスト化、他品種少量生産への対応が可能になるとし「両業界に大きな波及効果が期待できる」という。

開発研究は今後、二年間つづけられるが、最終年度の63年には実用化をめざす。

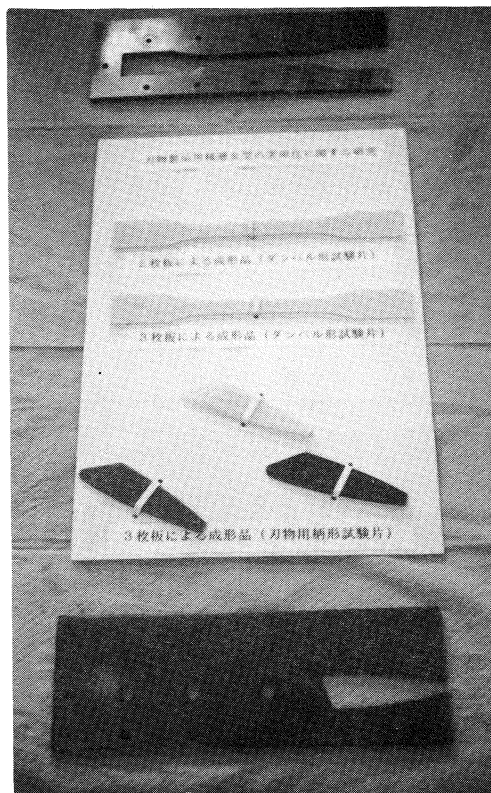


積層金型の部分をレーザー加工する



← 積層板を使った金型

→ 同金型を使った成形製品



未来博開幕へあと一年

「岐阜の産業館」出展募集中

『ぎふ中部未来博』は開幕の来年七月八日まであと一年。主催する博覧会協会は、出展する19のパビリオンを決定、会場の岐阜市長良川畔では本格的な施設づくりに入っている。

前売入場券の発売で盛り上げる

未来博開幕への盛り上がりは七月一日から前売入場券が発売されたり、同八日のイメージソング発表会などで、一気に高まった。

未来博は、テーマ館のスカイマックス未来館中部圏を紹介するパノラマ中部館のほか情報・コミュニケーション、宇宙、エネルギー、バイオテクノロジー、健康・スポーツ、レジャー、衣・食・住など、あらゆる21世紀を先取りする多彩な展示(合計19のパビリオン)が予定される。それにイベント・富田勲のシンセサイザー、国際バザール・楽市楽座などショッピング、モニュメント・岡本太郎の未来タワー等々、興味ある企画が相次いでいる。

この開催に投資される総事業費は410億円。その経済効果は、実に4.2倍の1,700億円が見込まれる。

なかでも「伸びゆく岐阜の産業館」は、地元の産業界から関心をよんでいたが、このほど出展要領が最終的

にまとまり、募集を開始した。

出展資格は県内の企業、組合団体、展示スペースは一区画20平方メートル、会期中の使用料は一平方メートル5万5千円。申し込み期限は八月三十一日で、協会では出展を呼びかけている。

ともあれ未来博まであと一年。施設づくりと並行して道路や輸送の拠点、駐車場、会場案内など関連施設の整備も着々進んでいる。未来博協会では、会期中県内外から250万人にのぼる大観衆の入場を見込んでいる。



前売券発売をPRするパンフレット

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]

PBT樹脂

NOVADUR

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン **NOVATEC NOVATEC-L**

高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

新人類のライフ・スタイル

デザイン開発において、製品の消費対象となる生活者のライフ・スタイルは、ニーズを的確につかみ新たな製品として供給する上で、今非常に関心が高く、マーケティングの最終目標にもなっている。

こうしたニーズへの的確な対応手法は、岐大振ニュースNo.30で見ていただくとして、今回は「新人類」の生活ぶりについて紹介しておきたい。

新人類と呼ばれる人たちは、26～27歳から下の年齢と思われるが、すでに社会人となり、サラリーマンとして働き、大きな市場をつくりあげつつある。

この「新人類」のライフ・スタイルはまだよく分析されていないが、特質をあげると次のようになる。

○仕事に対する意識が低い。

仕事や勉強に対する意識は低く、将来のためにコツコツと行動することよりも、短期的な計画に基づいて生活しているようである。

収入を中心に仕事を選んだり、勤務時間後はできるだけ職場以外の人たちと過したいと考え

たり、仕事よりも家庭や余暇時間を増やすことを選ぶ傾向が強い。

○音楽・ファッションへの関心が高い。

東海テレビ(61年秋)の調査によれば、趣味のトップは音楽で女性の半分以上がピアノを、男性の三割がフォークガットギターが弾ける。

1人当たりのレコード所有数は21枚、音楽のカセットテープ所有数は40本、好きなジャンルはニューミュージック、歌謡曲、ポップスの順になっている。

又スポーツは、男女ともトップにスキー、男性はボーリング、野球、ソフトがそれに続き、女性はテニス、ボウリングとなっている。

○能力主義

旧人類に男女間差異を考える人がいるとすれば、この世代にはそれは極めて少なくなっている。これは年功主義についてもいえ、能力や業績を重視し、自分の可能性を試すチャレンジ精神もかなり強くある。

以上、簡単に新人類たちの生活意識・行動・価値感にふれたが、こうした新たなライフ・スタイルが新たなニーズと市場をつくり出すことから、今後さらに情報を収集し分析していく必要がある。

(岐阜県工業技術センター 技術振興部)

出光

の石油化学製品

◎取扱品目

ポリスチレン

低密度ポリエチレン

高密度ポリエチレン

ポリプロピレン

カルブ®

ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111

名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目1番1号(日土地名古屋ビル5F) 〒460 ☎ 052-231-8611

脱サラ10年、次は脱家内工業

ウエノプラスチック工業

工場訪問は上野喜久雄さんが経営するウエノプラスチック工業を訪ねた。工場は山県郡伊自良村藤倉。というより長滝の甘南美寺への入り口、と紹介した方が分かってもらえそう。

その上野さんに会って驚いた。昭和24年生まれというから88歳。24年と言えば、戦後の混乱から産業が復興し始め、岐阜県下にプラスチックの成形加工工業が芽生えてきたころ。

操作を知らないうちに機械到着

まず、工場の生い立ちを聞くと「工場は10年前に私が創業したのです。わずか4年でしたがリス興業の経験を生かし、親父の精米所を譲り受け、成形工場としたのです」という。

一口で言えば脱サラであるが「リス興業時代は営業マンでしたから、大変でした。成形機の運転操作をまだ覚えないうちに機械が到着して

おおあわて、メーカーの技術者から必死に教わったり、知人から根掘り葉掘り、いろいろ聞きました」と、当時をふりかえる。

58年に二級技能検定試験に合格

一号機は日精樹脂の150トンで、続く二号、三号は新潟鉄工の100トン。このうち二号機は設備近代化資金で購入したが、三台の成形機で元精米工場はすっかり成形工場らしくなった。

上野さん自身も技術を身につけ、すでに58年には二級技能検定試験に合格している。

製品はこれまでテープレコーダーなどの弱電部品や工業部品を成形してきたが、円高影響から受注は先ぼそり気味。このため最近はリス興業時代の縁故を頼って、岐阜プラスチック工業へ受注開拓し、新しい部品の成形を始めた。

工業組合の青年部へ加入したい

工場には両親と奥さんが働き、典型的な家内

工業だが、上野さんは「工場を従業員に任せて営業活動できれば、もっと効率的な経営ができるのに」と残念がる。

今後は「業界人として、経営者としての知識を広く身に付けたい。幸いまだ30歳代なので組合青年部へ加入し、交流を深めていきたい」と話す。脱サラ10年、苦楽はあったが上野さんの勝負どころはこれからだ。



脱サラ10年、こんどは脱家内工業をめざす上野さん

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□創立記念・準備の年、協力下さい□

さる五月総会で今年を『工業組合創立20周年記念・準備の年』とし、68年5月26日に予定する記念式典へ向け準備を開始したところです。また、七月の理事会では実行委員長に武藤昭三副理事長を選びました。今後輝かしい記念の年になるように、具体的な行事を企画立案していきます。組合員のみなさんご協力をお願いします。

□未来博開催へ後一年と迫りました□

さる中部未来博も、あと一年と迫りました。県内地場産業をPRする『伸びゆく岐阜の産業館』も最終案が決まり、博覧会協会では企業ごとの出展を中心に募集を開始しております。工業組合ではプラスチック業界の取りまとめと調整を担当することになり、このほど各組合員へ出展アンケートをお送りしたところです。回答用紙に記入され、ご返答下さい。

□ジャンボクーポンの希望は早めに□

夏のレジャーシーズンを迎えています。工業組合では企業のみなさんに、思いっきり夏を楽

しんでもらおうとナガシマスパーランドのクーポン『ジャンボクーポン』を斡旋しております。一冊2,700円ですが、これには入場券、プール券、のりもの券、金券(百円券5枚)がついてお徳です。希望枚数をまとめて電話で申し込んで下さい。

□工業組合青年部へ加入して下さい□

組合青年部の夏の親睦研修旅行を8月30日から一泊二日の予定で実施します。行き先は北陸の粟津温泉ですが、とくに組合のあつ旋商品でご存知の、スライドラックを製造しているダイフク滋賀工場を見学します。組合青年部はこのほか研修や相互の親睦を深める種々の活動を行っています。会員の増強にご協力下さい。

岐阜県のプラスチック 1987 77号

昭和62年8月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話 (0582) 72-7173

FAX (0582) 76-1525

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松 幸栄

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

暑中お見舞い

申し上げます



昭和62年 盛夏

岐阜県プラスチック
工業組合役員一同

岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233 (代)

品質と技術の工業部品専門メーカー

ムトー精工株式会社

代表取締役 武藤昭三

本社工場 各務原市鵜沼川崎町1-60-1
TEL <0583>71-1100 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中字州崎
TEL <0582> 46-1313 (代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中弘一

本社工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役会長 児玉庄一

岐阜県安八郡神戸町末守377の1
TEL <058427> 4141 番(代表)

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL <0582> 45-5528 (代) 〒500
東京営業所 東京都中央区湊3-16-8
磯部ビル2F
TEL <03> 551-6300 〒104

大垣プラスチック
工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町24
TEL<052>932-3945(代)

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市極楽寺改田1451-1
TEL<05753>3-1888

名古屋三光合成樹脂工業株式会社

岐阜工場

取締役工場長 酒井寛治

名古屋市南区鳥栖町2丁目93番地
TEL<052>822-1325(代)
岐阜工場 岐阜県安八郡安八町森部2454の1
TEL<058464>代表 3388番

日本工芸株式会社

代表取締役 加藤法康

関市寿町2丁目1の26
TEL<05752>2-0328

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

代表取締役 福西紀雄

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

有限会社

加藤プラスチック製作所

代表取締役 加藤雄一

岐阜市鏡島1785-1
TEL<0582>51-5357

関化成工業有限会社

代表取締役 林光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904

岐阜技研ポリマー
株式会社

代表取締役 篠田哲

岐阜市岩地3-7-15
TEL<0582>46-2541



ニーズに適確に
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら
ではの、離れ技。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

〈特長〉

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を傷しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511 (代)

時代への先射

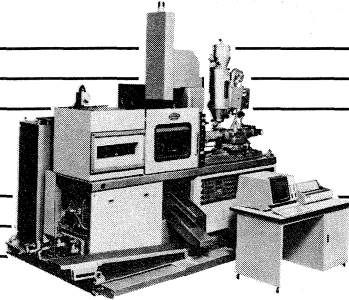
プラスチック射出成形専門技術で確かな明日に貢献します。

コンタクトレンズから人工心臓まで
医療に役立つプラスチック

高度情報化社会の推進者、
エレクトロニクス&プラスチック

プラスチックが貢献する
ニューメディアの実用化

未来の交通を変える
軽くて強いプラスチック



高精度で小型、軽量、そして低コスト…すでに当り前となったエレクトロニクス製品。これらを可能とした背景にプラスチックは欠かせません。しかも、ニューメディア、バイオテクノロジーなど、今後社会を主導する分野では、ますます精度の高いプラスチック製品が求められてきます。射出成形機の専門メーカーとして実績を誇る日精樹脂は、信頼性の高い射出成形機、マイコンをいち早く導入した制御システム、総合的なシステム成形など、先進の技術で常にプラスチック業界の要望を叶えています。より深い専門技術とより広い応用技術で、今後もプラスチックの新しい利用価値を提供してまいります。

今日の課題を解決し明日の可能性を拓く

テクニカルセンター

充実したデータ処理システムや計測機器を完備したテクニカルセンター
成形品の試験やノウハウ技術開発を行うとともに、顧客の立合試験にも利用されています。

NISSEI 精密射出成形機 世界のトップメーカー 日精樹脂工業株式会社

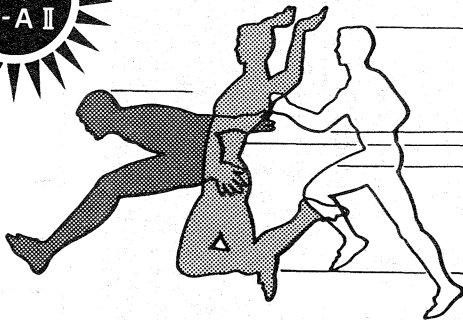
岐阜出張所 〒500 岐阜県岐阜市西部寺屋敷3-40番ビルF ☎(0582)72-5952
本社・工場 〒389-06 長野県坂城町 ☎(0268)82-3000(大代表)
営業所 東京/大阪/名古屋/長野
出張所 全国34ヶ所 海外サービスステーション25ヶ所(21ヶ国)



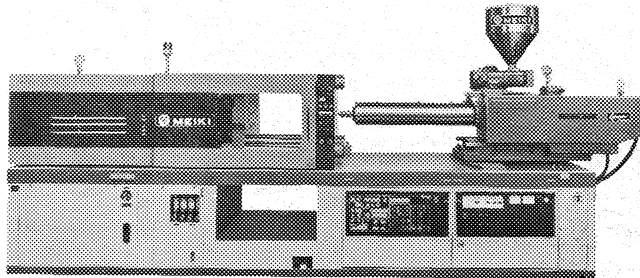
ホップ ステップ

ジャンプ

機能倍増・デザイン一新



- サイクル精密アップ
- FA化へステップ
- 品質向上・省エネ化
- 人間第一の操作と安全性



M-150A II L-DM

株式会社 名機製作所

〒474 愛知県大府市北崎町大根2

☎<0562>48-2111(代)

東京支店 ☎<03>221-7731(代)

中部支店 ☎<0562>47-2391(代)

大阪支店 ☎<06>386-2151(代)

関東営業所 ☎<0284>91-0816(代)

北陸営業所 ☎<0766>24-1012(代)

静岡営業所 ☎<0542>57-0312(代)

広島営業所 ☎<082>283-7941(代)

九州営業所 ☎<092>863-7197(代)

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL.(03)541-4111・名古屋支店/TEL.(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 〒103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



活きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

リス
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮